

2013

わかりやすい

いたののけっさん

〈平成25年度決算 町民への決算説明書〉



【板野町あせび温泉やすらぎの郷 マスコットキャラクター

「あせびちゃん」と「弁慶くん」】



～はじめに～

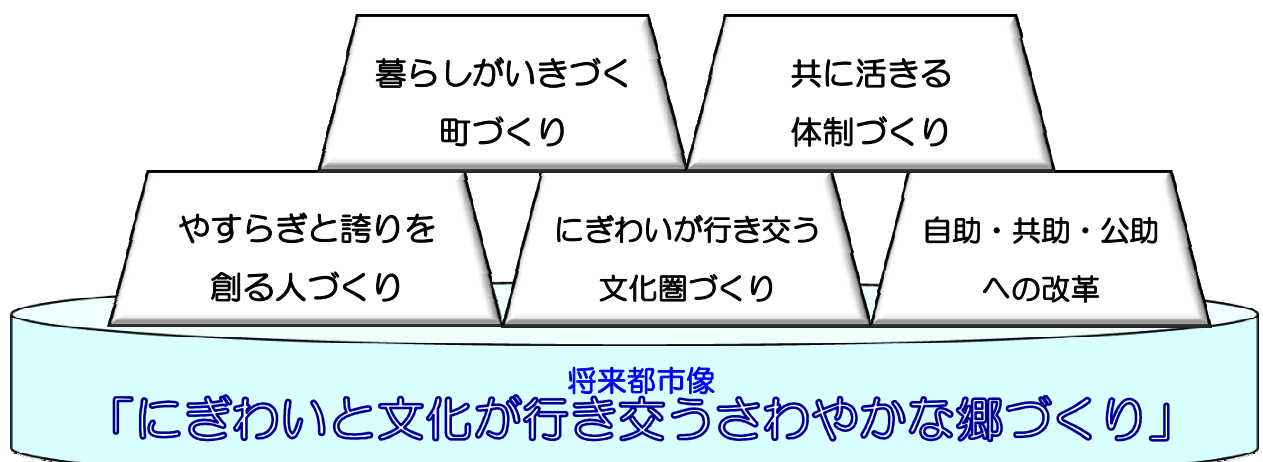
板野町では、町民の皆様と協働でまちづくりを行うため、町の情報を積極的に公開しており、その1つとして予算書、決算書の概要版を作成しています。

本書は、「第4次板野町振興計画」で定めた5つの基本目標に基づいて構成しています。この基本目標ごとに、板野町が平成25年度でどのような事業を行い、どれだけのお金を使ったのかを、できるだけわかりやすく紹介しています。

この冊子をとおして、板野町の財政状況について皆様のご理解が深まるきっかけとなれば幸いです。

板野町では「にぎわいと文化が行き交うさわやかな郷づくり」を将来都市像として、まちづくりを進めています。この将来像の実現に向けて、5つの基本目標を定めています。

まちづくりの基本目標



～ も く じ ～

決算状況	1
平成25年度一般会計決算概要	2
財政の健全化判断比率	8
第1章 暮らしがいきづく町づくり	
1. 町土の有効利用	10
2. 社会資本の整備	10
3. 環境教育の推進	13
4. 公共空間の整備・促進	13
第2章 共に生きる体制づくり	
1. 地域福祉活動の推進	16
2. 保健・予防の充実	20
3. 地域安全体制の整備	23
第3章 やすらぎと誇りを創る人づくり	
1. 安全と安心の共有	26
2. 町づくり団体の育成・支援	
3. 地域コミュニティの形成と実践	26
4. 人権・公正・公平	27
5. 共に学ぶ人づくり	27
第4章 にぎわいが行き交う文化圏づくり	
1. 歴史と文化の継承	32
2. 産業の振興	33
3. 産官学交流ネットワークづくり	
第5章 自助・共助・公助への改革	
1. 小さな自治体と自立への10年計画	38
2. 信頼される役場づくり	38
3. 行財政改革の推進	39
総合行政の成果	41

まずは、各会計の決算状況について
報告してみよか～！



平成25年度の板野町各会計の決算が、板野町議会9月定例会において認定されましたので、決算の概要及び財政状況についてお知らせいたします。

(※ 1万円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。)

一般会計の歳入は、前年度に比べ2億3,820万円減の60億3,576万円となり、このうち主な自主財源である町税は15億8,764万円でした。

一方、歳出は、前年度に比べ1億9,935万円減の56億5,778万円となりました。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた「歳入歳出差引額」は3億7,798万円の黒字となり、これから翌年度に持ち越した事業の支払いに使う繰越財源3,113万円を差し引いても3億4,686万円の黒字となるため、健全な財政運営が行われているということが出来ます。

特別会計及び公営企業会計においても、概ね黒字を堅持していますが、国民健康保険事業会計については3年連続での赤字決算となり、厳しい財政運営を強いられています。

(単位：万円)

区 分	一般会計	住宅新築資金等 貸付事業特別会計	奨学金貸与事業 特別会計	国民健康保険事業 特別会計
歳入総額	603,576	1,340	95	153,552
歳出総額	565,778	1,219	95	154,735
歳入歳出差引額	37,798	122	0	△ 1,183
翌年度への 繰越財源	3,113	0	0	0
実質収支額	34,686	122	0	△ 1,183

区 分	後期高齢者医療 特別会計	介護保険事業 特別会計	介護サービス事業 特別会計	公共下水道事業 特別会計
歳入総額	13,180	122,777	1,483	32,955
歳出総額	12,047	122,283	964	32,943
歳入歳出差引額	1,133	495	518	12
翌年度への 繰越財源	0	0	0	12
実質収支額	1,133	495	518	0

◆企業会計

(単位：万円)

区 分	収入	支出	差引	
水道事業	収益的収支	22,720	22,696	24
	資本的収支	11,311	11,311	0

※公共下水道事業は公営企業法非適用のため、企業会計ではなく特別会計として計上しています。

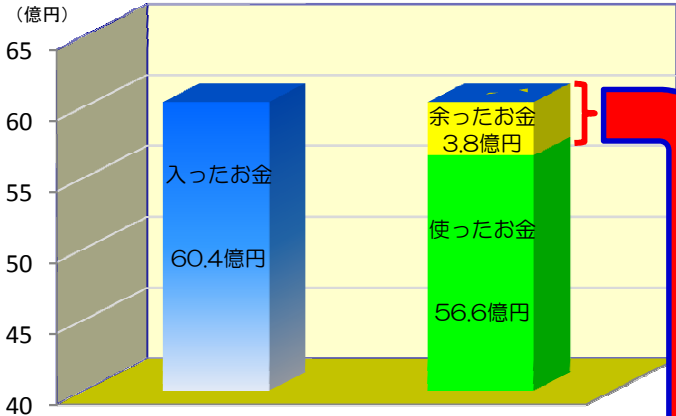


ほな次は、一般会計の決算概要について
報告してみるでよ～！



Q1-1 平成25年度の決算は
黒字だったん？赤字だったん？

○平成25年度 一般会計決算収支の状況

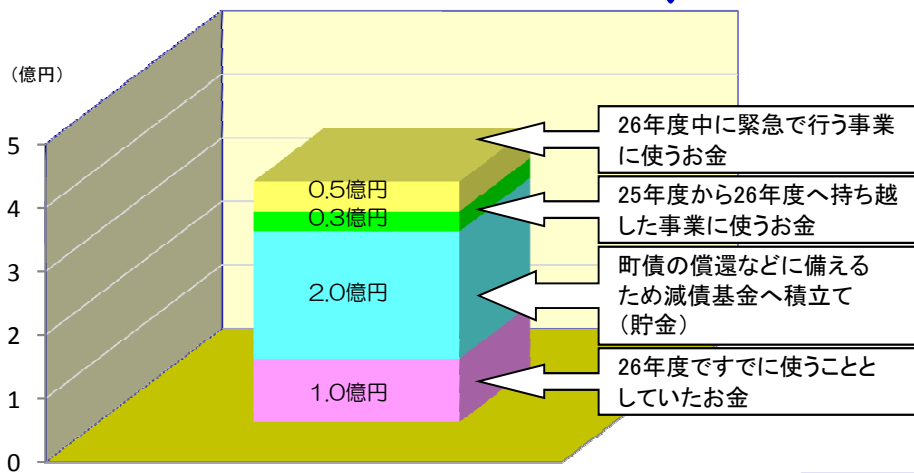


町税や地方交付税など「入ったお金」60.4億円
に対して、福祉や教育、道路整備など町の仕事
に「使ったお金」は56.6億円やけん、差し引き
3.8億円の『黒字』だったんでよ！



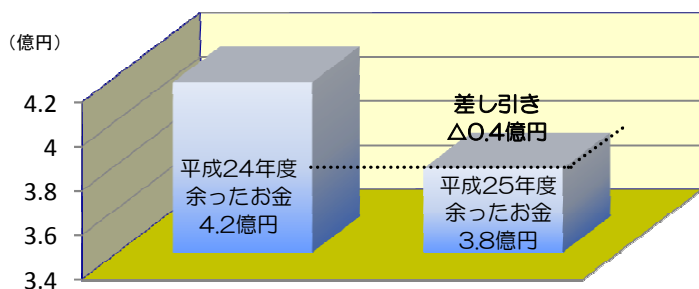
Q1-2 余ったお金はどうするん？
去年と比べてどんなん？

○余ったお金の使い道



余ったお金は次の年度で行う事業の支払いに使ったり、災害時など緊急の支払いに使う貴重な財源になるんじゃ。
また、将来行う事業の財源とするためや、想定外の多額の支払いが発生したことによる財源不足となった場合に備えるために、基金への積み立てもしよるんでよ。まあ、一般家庭でいうたら「貯金」みたいなもんじゃなあ。

○余ったお金の対前年度比



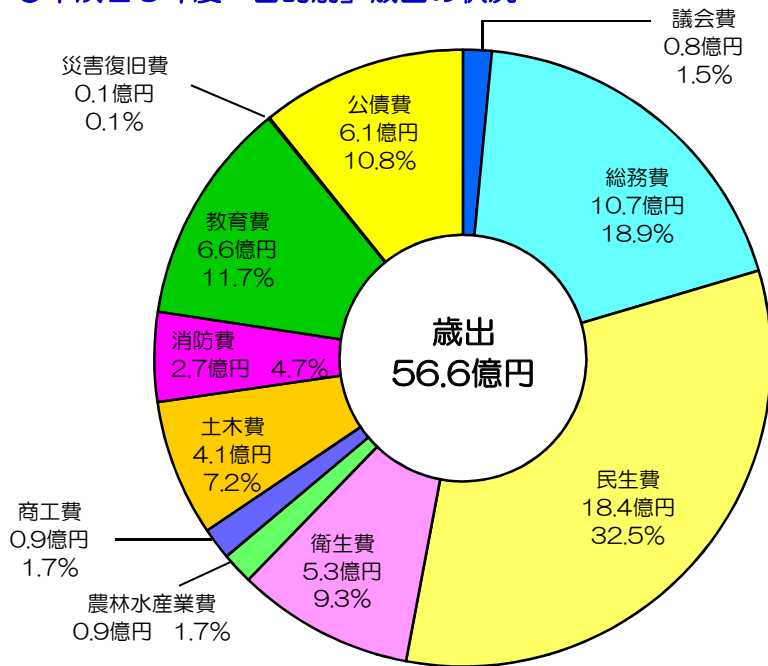
余ったお金を去年と比べたら、
0.4億円減ったんじゃ。
減ったちゅうても4億円近い
黒字やけん心配ないように見えるけんど、
取り崩した貯金を積み戻すことができず
に、残高が減ってきとんが少し気になると
ころじゃなあ...





Q2 どんな目的で、
どんなことに対して
どんだけの額を使うたん？

○平成25年度「目的別」歳出の状況

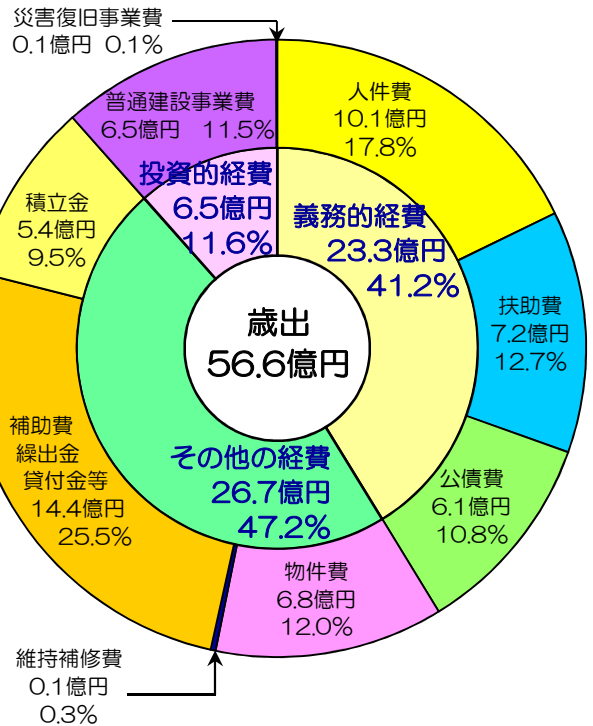


子どもやお年寄り、障害者に対する福祉関係などの支出である「民生費」が約18億円と、全体の約3割を占めとんでよ。

また、役場庁舎の耐震改修工事も一段落したんで、「総務費」が約10億円と落ち着いた反面、学校給食センターの建設が始まったために「教育費」が昨年度から約1.6億円の増加となったんじゃ！



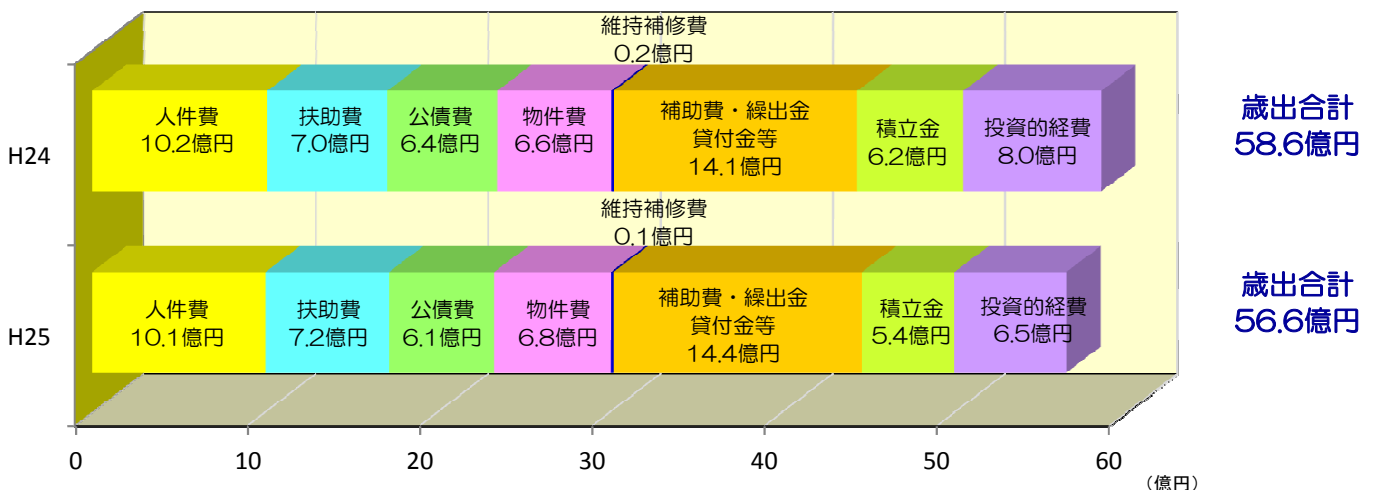
○平成25年度「性質別」歳出の状況



義務的経費はほぼ前年度並みやけんど、扶助費が少しずつ増えていきよんでよ～。
役場庁舎耐震改修工事の終了や財政調整基金などへの積立額の減などにより、「投資的経費」及び「積立金」が大幅な減額となったんじゃ～！



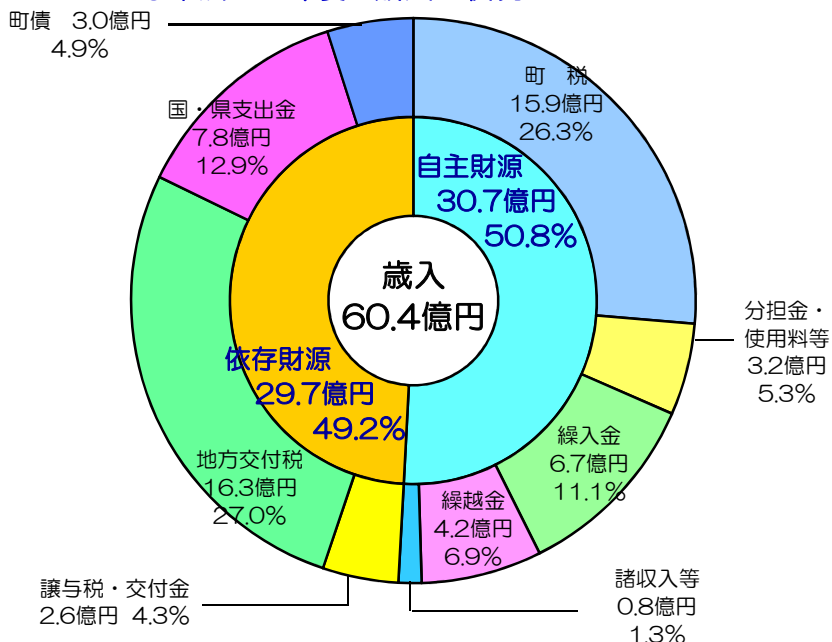
○「性質別」歳出の対前年度比





Q3 収入はどんなもんがあって、どのくらいの額なん？

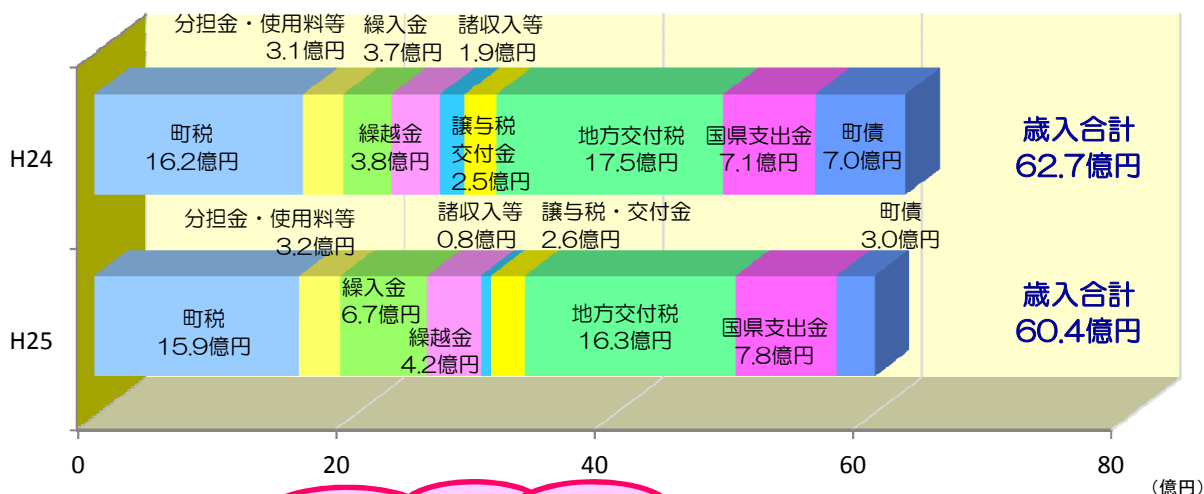
○平成25年度 歳入の状況



町民の皆さんに納めていただいている「町税」と、国から交付される「地方交付税」が収入の主なもんなんじゃ。町税や施設使用料など、町が独自に調達できる『自主財源』は約30億円と全体の半分以上を占めとるけど、地方交付税や国・県からの補助金、町の借金でもある「町債」などの『依存財源』も約30億円と全体のほぼ半分と、板野町の財政基盤が決して強くない、ということを表しとんじゃ〜。



○歳入の対前年度比



町税や地方交付税、町債が去年と比べて、ごっつい減っとなあ



ほうよ！
町税が減ったんは町内企業の減収によるもんで、町債の減少は役場庁舎の耐震改修工事の完了が大きな要因になっとなあ。
地方交付税も1億円余り減って、収入不足を基金の取り崩しで賄うなど、町財政の今後の見通しは非常に厳しい状態じゃ。
安定した財政運営を行うためにも、もっと自主財源の確保に努める必要があるわなあ。





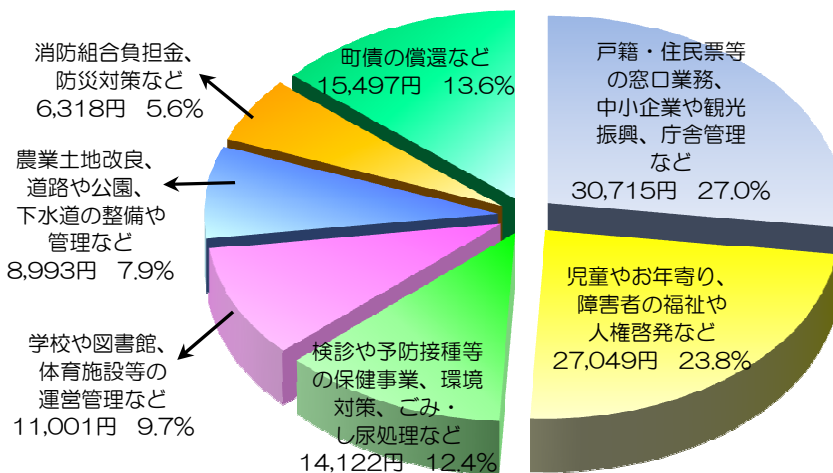
Q4-1 町に納める税金で、 どんなもんなん？

税 目		H25年度収入済額	主 な 内 容
個人町民税	均等割	17,714千円	年額3,000円
	所得割	473,644千円	(前年中の総所得金額等－所得控除額)×税率6%
法人町民税	均等割	30,702千円	1号法人(年額60,000円)～9号法人(年額3,600,000円)
	法人割	234,411千円	課税標準額×税率(14.5%)－税額控除額
固定資産税	土地	203,860千円	課税標準額(田畑、宅地など)×税率(1.4%)
	家屋	352,352千円	課税標準額(住居、事務所など)×税率(1.4%)
	償却資産	120,417千円	課税標準額(企業の機械など)×税率(1.4%)
	交付金	240千円	算定標準額(国・県所有の資産)×税率(1.4%)
軽自動車税		35,150千円	原付(50cc)年額1,000円、四輪乗用(自家用)年額7,200円など
町たばこ税		119,149千円	旧3級品以外の紙巻きたばこ 1,000本当たり4,618円



Q4-2 みんなが納めた税金で、 どんなふうに使われよん？

○町民1人当たりの町税の使いみち



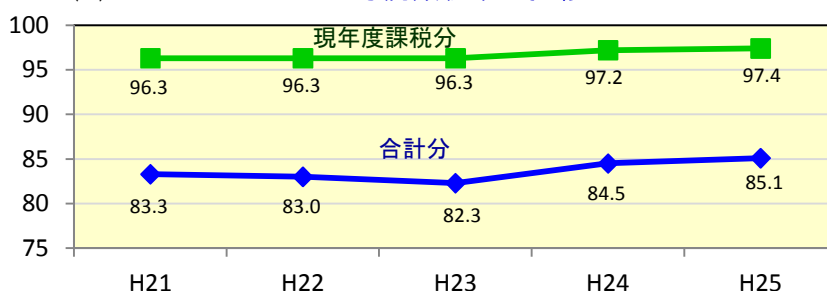
【1人当たりの町税額：113,695円、H26.3.31現在住基人口：13,964人】

このように金額の多寡はあっても、税金はまちのすべての人のために、様々な分野で使われとるんじゃ！
ほなけん、どんなことに税金を使うてほしいんか、いま何をせなあかんのか、っていうんを町民のみんなにも行政と一緒に考えてほしいんじゃ！



Q4-3 税金はちゃんと納められよん？

○町税徴収率の推移



現年度課税分はほとんど納められとんやけど、滞納繰越分を含めた合計分の徴収率は県内で最下位なんじゃ～！
ほなけん、役場の管理職たちで構成する『特別徴収班』を結成して訪問徴収・納税相談を行うなど、滞納解消に向けた取り組みを強化しとんでよ。

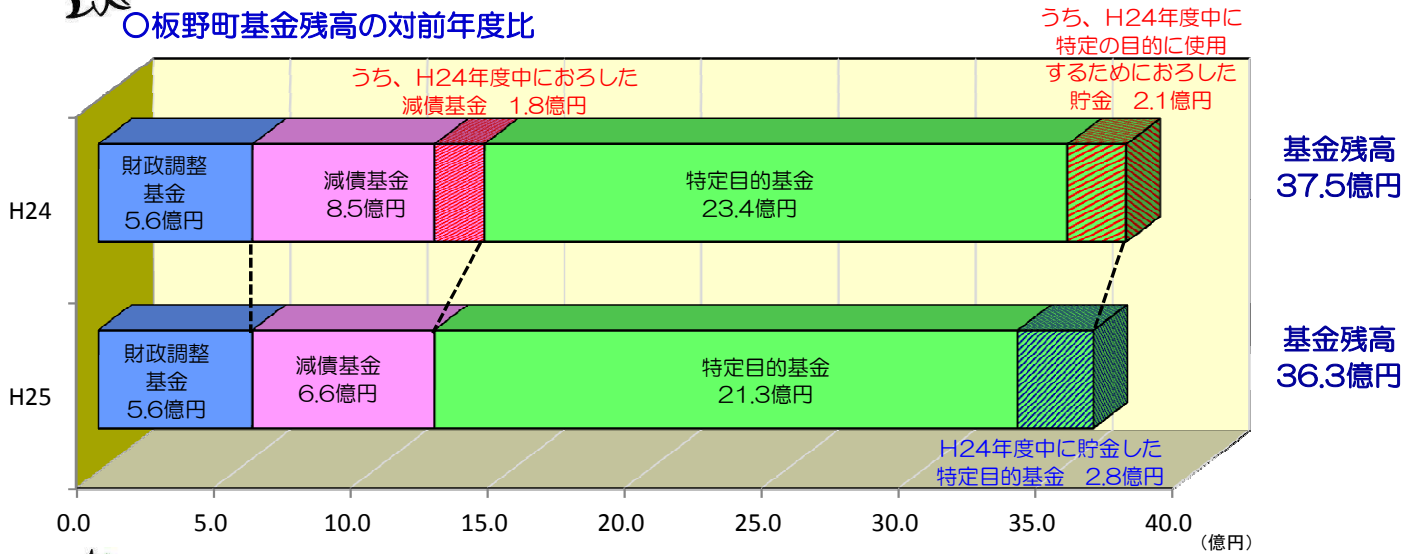
税金は納期内に納めましょう！





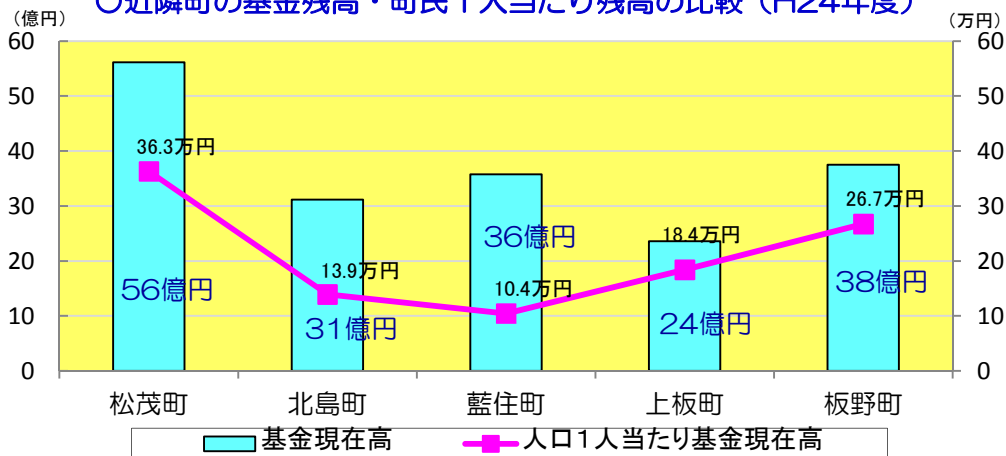
Q5-1 貯金はどのくらいあるん？
去年より増えたん？

○板野町基金残高の対前年度比



Q5-2 貯金をほかの町と比べたら
多いん、少ないん？

○近隣町の基金残高・町民1人当たり残高の比較 (H24年度)



板野町の基金残高は、減債基金を約2億円取り崩したために、平成25年度末現在で総額約36.3億円に減ってしまおうたんじゃ。

特定目的基金の増額分は、そのほとんどが「公共施設等整備基金」への積み立てで、学校給食施設の建設や、施設の修繕などに備えとるんじゃ。

板野郡内では残高、1人当たりともに松茂町が飛び抜けてるけど、板野町は二つとも2番目に位置しとるんでよ【平成24年度決算】。

とはいえ、行政の仕事は住民サービスの向上であって、利益を上げて蓄えを増やすことではないけん、基金は多いけど住民の要求に答えられん町とはならんように気をつけなあかんわなあ・・・

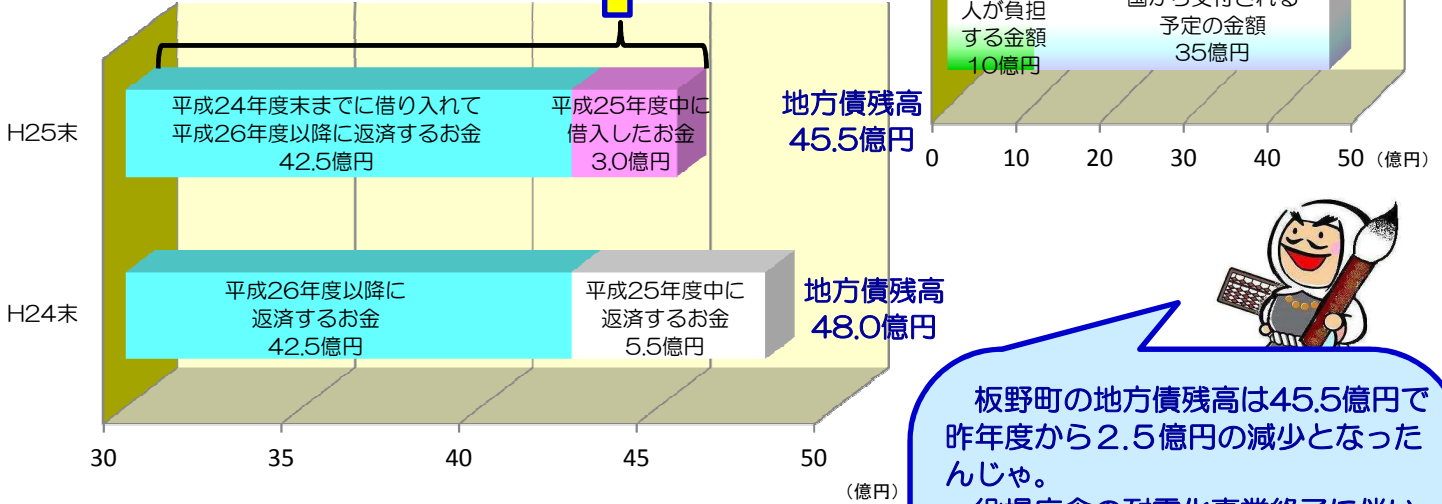
まあほんでも、基金は災害などいざという時や、今後のまちづくりに備えての貴重なお金でもあるけん、残高やその使い道をしっかりと把握しておくことも大事なことやと思うでよ～。





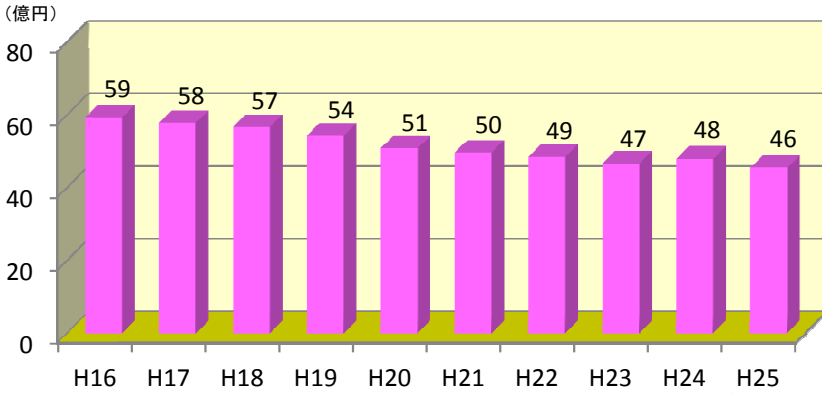
Q6-1 借金はどのくらいあるん？
去年より増えたん？

○板野町地方債残高の対前年度比



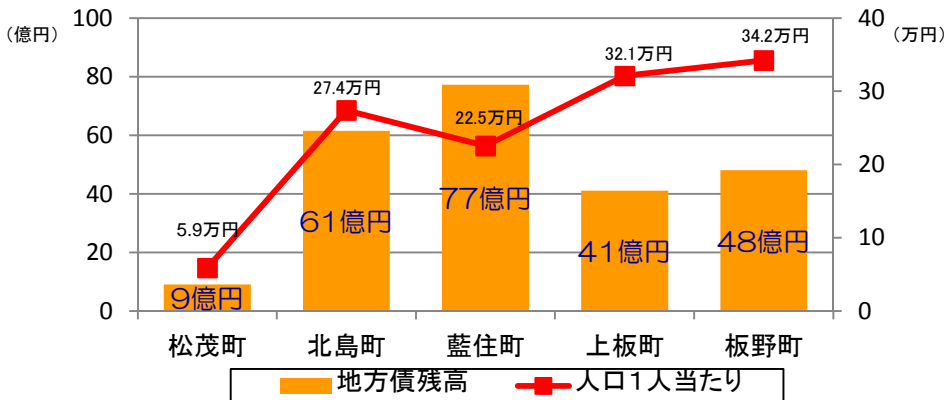
板野町の地方債残高は45.5億円で昨年度から2.5億円の減少となったんじゃ。
役場庁舎の耐震化事業終了に伴い借入が減ったことが要因じゃ。
順調に残高を減らしとるけど、学校給食センターの建設や既存施設の耐震・改修などの大型事業が控えとることから、計画的な借入が必要となってくるなあ。
板野郡内で比べてみたら、残高ではちょうど真ん中に位置しとるけど町民1人あたりでは上板町と並んで高い水準になっとんよ。
こうやってみたら結構ようけ借りとるようなけど、残高の4分の3にあたるお金は、地方交付税として将来に国から交付される予定やけん、住民の負担は4分の1で済む計算になるんじゃ。

○板野町地方債残高の推移



Q6-2 借金をほかの町と比べたら多いん、少ないん？

○近隣町の町債残高・町民1人当たり残高の比較 (H24年度)



借金ていうたら、ええイメージではないけど、借入れて造った公共施設は将来の住民も利用するじゃろ？
ほなけん、今おる住民だけでなく、将来の住民にも公平に負担してもらうために、借入をして公共施設の整備を進めていっきょんでよ！





Q7 結局、板野町はどんなんえ!?
大丈夫なん?

ほら、ええ質問じゃわ〜!
 まあ、今までみてきたグラフだけでは、貯金や借金が多すぎるんかどう
 うか、わかりにくいかもしれんなあ。
 ほしたら、まちの財政の健全度や危険度がどのくらいなんか、
 わかりやすい指標にして、みてみようかあ。
 ここでは、まちの財政状況がどうなっとんかを住民に理解してもらう
 ために、国が公表を義務づけた「4つの指標」をみてもらうわな!



○財政健全化判断比率

①板野町の財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	備考
平成25年度決算	-(※)	-(※)	12.4	-(※)	(※) 実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字の場合、将来負担比率は比率が算定されない場合「-」で表示されます。

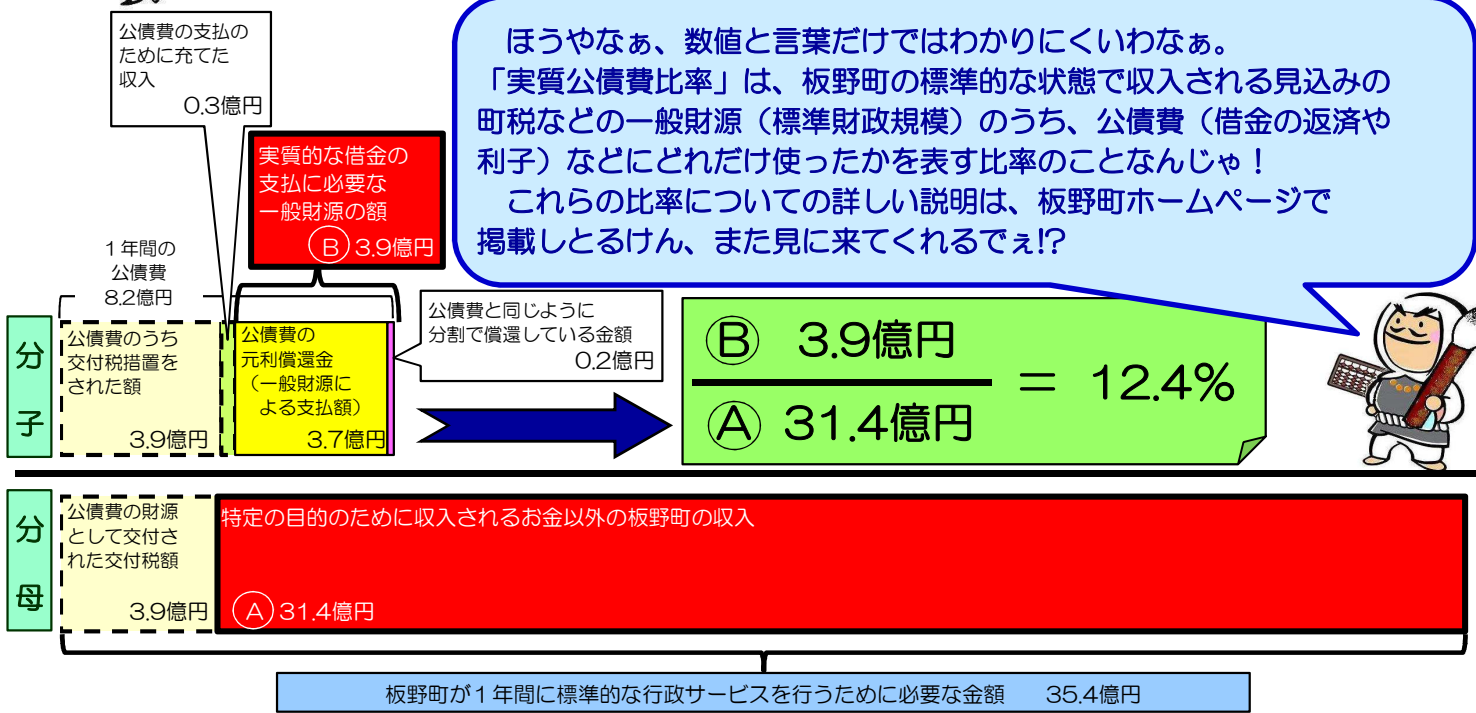
②国が示す財政状況の健全度（危険度）の基準

国が示す基準	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	備考
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0	この基準を超えると、財政状況が悪化したと判断され、自主的な改善努力による財政健全化を図らなければならない。
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		この基準を超えると、財政状況が極端に悪化したと判断され、国などの関与の下、確実な再生を図らなければならない。



ん〜、何やわかりにくいなあ・・・
 比率が出てないんは、ええことやと思うんやけど、
 比率のある「実質公債費比率」って
 結局のところ、どんなんえ〜!?

ほうやなあ、数値と言葉だけではわかりにくいわなあ。
 「実質公債費比率」は、板野町の標準的な状態で収入される見込みの
 町税などの一般財源（標準財政規模）のうち、公債費（借金の返済や
 利子）などにどれだけ使ったかを表す比率のことなんじゃ！
 これらの比率についての詳しい説明は、板野町ホームページで
 掲載しとるけん、また見に来てくれるでえ!?



暮らしがいきづく町づくり

第1節 町土の有効利用

第2節 社会資本の整備

第3節 環境教育の推進

第4節 公共空間の整備・促進

第1節

町土の有効利用

耕作放棄地及び遊休地整備事業（産業課）

640万円

【財源】 県：640万円

町の基幹産業である農業の振興を図るため、耕作放棄地及び遊休農地の有効活用を行うためのデータ収集及び整備を行いました。

【県の重点分野雇用創出交付金事業】

国営附帯県営農地防災事業（産業課）

600万円

【財源】 町：600万円（うち、町債：510万円）

国営総合農地防災事業吉野川下流域地区において、水質悪化による農業被害防止と農業経営の安定を目的に、徳島県が各ほ場までのパイプラインを整備する事業に対し、地元負担金を支出しました。

第2節

社会資本の整備

四国のみち維持管理事業（建設課）

61万円

【財源】 県：32万円 町：29万円

徳島県より委託を受けて「四国のみち」の適正な維持管理を図りました。



町道整備事業（建設課）

6,515万円

【財源】 町：6,515万円

道幅の狭い箇所の拡幅工事や町民の日常生活に必要な生活道路などの新設、維持補修を行いました。





西中富自歩道橋整備事業（建設課）

8,265万円

【財源】 国：4,318万円 町：3,947万円（うち、町債：3,170万円）

西中富橋は、旧吉野川に架かる重要な橋梁であり、近隣児童・生徒の通学路でもあるが、有効幅員3mと狭く、朝の通勤・通学時などは慢性的に危険な状態が続いていたため、現在の橋に隣接する形で自転車・歩道専用橋の新設を図りました。



橋梁長寿命化修繕事業（建設課）

314万円

【財源】 国：168万円 町：146万円（うち、町債：120万円）

老朽化した橋梁について、計画的・予防的な対応を図るため「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、地域の道路網の安全性を確保します。

今年度は町内の369橋のうち2橋の修繕調査設計業務を行いました。

- ・豊年橋（大寺字高樹）
- ・西中富橋（西中富字源氏）

路線バス運行維持対策事業（総務課）

156万円

【財源】 町：156万円

交通弱者の足として必要不可欠な公共交通（路線バス）の運行維持を図るため、事業者に対して負担金を支払いました。

し尿処理施設(クリーンセンター)整備事業 (環境生活課・クリーンセンター)

3,955万円

【財源】 町：3,955万円

町内で下水道を利用している地域以外のし尿や浄化槽汚泥を処理する施設のクリーンセンターは、築30年が経過しており、処理機器等のメンテナンス及び施設の修繕などを行いました。



合併浄化槽整備事業（下水道課）

893万円

【財源】 国：301万円 県：101万円 町：491万円

公共下水道整備区域外での生活排水による水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため、合併浄化槽設置補助金の交付を行い、合併浄化槽の設置を推進しました。

- ・補助件数 37件（5人槽 26件、7人槽 10件、10人槽 1件）

公共下水道事業（下水道課）

1億7,112万円

【財源】 国：6,362万円 町：1億750万円（うち、町債：8,710万円）

快適な生活環境を確保するため、公共下水道の計画的な整備や排水の適正処理を図り、整備の完了した区域から供用を開始しています。

平成25年度は、大寺郡頭、犬伏大柳、吹田町西と3地区の整備を行いました。

流域下水道事業（下水道課）

124万円

【財源】 町：124万円

旧吉野川流域下水道事業は、徳島県が主体となって事業を進め、関連2市4町（板野町と徳島市(吉野川北岸)、鳴門市、松茂町、北島町、藍住町）がそれぞれ工事負担金を支出しています。

下水道施設の維持管理（下水道課）

1,984万円

【財源】 町：1,984万円

下水処理を行う浄化センターは、徳島県が主体となって運営しており、旧吉野川流域の2市4町（板野町と徳島市(吉野川北岸)、鳴門市、松茂町、北島町、藍住町）がそれぞれ負担金を支出しています。

水道施設整備事業（水道課）

6,040万円

【財源】 その他：862万円 町：5,178万円（うち、町債：4,400万円）

板野町の生活用水は、新田地区及び西中富・中久保地区の地下水を水源とした上水道によって供給しています。安全でおいしい水を供給するため、計画的に水道施設の整備を行っています。

平成25年度は、下庄地区で石綿管の布設替工事、松谷川改修工事に伴う配水管移設工事を実施しました。また、大坂配水池への送水管布設替工事を実施しました。

防犯灯整備・維持管理事業（総務課）

734万円

【財源】 町：734万円

明るい犯罪のない町づくりの推進を図るため、防犯灯の設置や修繕を行いました。また、省エネや環境に配慮するため、防犯灯のLED化を推進しました。

- ・ 町管理防犯灯総数 1,503本 （平成26年3月31日現在）
- ・ うち平成25年度新設分 10件
- ・ うちLED化防犯灯総数 839本



第3節

環境教育の推進

資源ごみ等リサイクル推進事業
(環境生活課)

1,157万円

【財源】 町：1,157万円

循環型社会を目指し、古紙や金属類、カン類など資源ごみの回収を行い、リサイクルを推進することにより、ごみの減量化や地球に配慮した環境づくりと、町民のみなさんの環境意識の向上を図りました。

また、ごみの減量化のため、生ごみ処理機器を購入した人に対して助成を行いました。

毎月第2、第4月曜日(祝日・年末年始を除く)と第3日曜日には、板野町環境センターで大型複合ごみや有害ごみと併せて資源ごみの回収も行いました。

不法投棄物処理等事業 (環境生活課)

26万円

【財源】 町：26万円

生活環境を守るため、廃棄物の不法投棄防止対策を強化するとともに、道路・河川・山林等に投棄された廃棄物の迅速な回収と適正な処理を行いました。

また、定期的に町内を巡回するなどし、不法投棄防止対策に努めました。



第4節

公共空間の整備・促進

役場庁舎太陽光発電施設整備事業 (総務課)

1,616万円

【財源】 県：1,517万円 町：99万円

板野町行政活動の拠点となっている役場庁舎は、災害の危険性が生じたときや、実際に災害が発生した場合に、災害対策の拠点としての役割も併せ持っています。

役場庁舎に太陽光パネルを設置することにより、非常時の電源確保を図るとともに、庁舎光熱費の削減及び地球温暖化対策の推進にも貢献するものと期待をしています。

平成24年度からの繰越事業として実施しました。



町営住宅維持管理事業（建設課）**2,808万円**

【財源】 使用料：2,808万円

町営住宅14団地(全70棟)、582戸の修繕や周辺の環境整備を行うとともに、家賃収納率の向上に努めました。

排水路環境美化推進事業（環境生活課）**110万円**

【財源】 町：110万円

快適で衛生的な生活環境を確保するため、自治会などが自主的に取り組む排水路などの清掃活動への助成を行いました。道路の草刈りや水路の浚渫作業を行った団体に対し、作業参加人数に応じた活動補助金を交付し、25年度は53団体の申請がありました。

動物愛護・適正管理事業（環境生活課）**206万円**

【財源】 町：206万円

生後90日を超えて、登録申請のあった飼い犬には「鑑札」を、狂犬病予防注射を受けた犬には「注射済票」を、それぞれ交付しました。

東小学校校舎改修事業（教育委員会）**1,270万円**

【財源】 国：315万円 町：955万円

東小学校の講堂及び渡り廊下の屋根、管理棟の軒天コンクリート部分が老朽・破損するなど危険な状態であったため、改修工事を行いました。

また、障害者用トイレの設置工事や教室の改修も行い、学校施設のバリアフリー化にも努めました。



板野東小学校 講堂【東小学校HPより】

中学校校舎改修事業（教育委員会）**120万円**

【財源】 町：120万円

中学校のトイレには段差があり、便器も和式であるなど、身体に障害のある生徒が使用するには非常に困難な状況であったため、障害者用トイレの設置工事を行い、学校施設のバリアフリー化を図りました。

共に生きる体制づくり

第1節 地域福祉活動の推進

第2節 保健・予防の充実

第3節 地域安全体制の整備

第1節

地域福祉活動の推進

保育所運営事業（板野保育園・わかば保育園）

6,039万円

【財源】 国：380万円 県：79万円 その他：4,150万円 町：1,430万円

板野保育園、わかば保育園の運営を行いました。通常保育のほか、午後7時までの延長保育と一時預かり事業を実施しています。



地域子育て支援拠点事業（板野保育園）

292万円

【財源】 県：292万円

地域の子育て支援情報の収集や提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体などと連携しながら、地域の子育て力を高める取組を行いました。

子育て支援事業（住民課）

260万円

【財源】 国：3万円 県：95万円 町：162万円

住民のみなさんと行政が協働で板野町の子育て世代を様々な形でサポートし、地域全体で家庭の子育て力を高めるための子育て支援事業として、ファミリーサポート事業や病児・病後児保育事業などを実施しました。

※ファミリーサポート … 育児など子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が会員となる組織（ファミリーサポートセンター）を設立し、地域で子育て援助活動をすることで、仕事と育児の両立支援と地域の子育て支援を行う制度です。

※病児・病後児保育 … 共働きの保護者等が病気の子どもの養育が困難な場合に、町が委託した施設で子どもの一時的に預かる制度です。

児童手当給付事業（住民課）

2億474万円

【財源】 国：1億4,088万円 県：3,185万円 町：3,201万円

0歳から15歳までの児童を養育している父母等に対し、子どもの年齢や人数、世帯の所得状況等に応じて児童手当の給付を行いました。



子どもはぐくみ医療費助成事業 (住民課)

6,396万円

【財源】 県：2,146万円 町：4,250万円

子育て中の家庭の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるよう、0歳から中学3年生までの通院・入院に要する医療費の保険適用分について、全額を助成しました。

東児童館増築事業 (住民課)

1,976万円

【財源】 町：1,976万円

利用者の増加に伴い手狭となった従来施設について、利用する児童の心身の健全な育成に寄与することを目的として、施設の東側に新しく遊戯室と食事室を増築しました。

給食費半額補助事業 (教育委員会)

2,666万円

【財源】 町：2,666万円

子育て支援策の一環として、幼稚園、小学校及び中学校の給食費自己負担額のうち、半額を町費により補助しました。

障がい福祉サービス事業 (福祉保健課)

2億8,120万円

【財源】 国：1億3,855万円 県：6,845万円 町：7,420万円

障がいのある方が、その種別（身体・知的・精神障がい）にかかわらず、共通の福祉サービスの中から必要とするサービスを自ら選択し、事業者や施設と契約を結んで利用したサービスに要した経費の一部について給付を行いました。

障がい者地域生活支援事業 (福祉保健課)

2,192万円

【財源】 国：477万円 県：399万円 その他：761万円 町：555万円

障がい者が有する能力や適正に応じ、自立した生活を営むことができるよう、各種支援事業等サービスの提供などを行いました。

自立支援医療費助成事業 (福祉保健課)

3,897万円

【財源】 国：1,950万円 県：960万円 町：987万円

自立支援医療制度は、障がいのある方の医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度です。

収入や所得、障がいの状況に応じて一ヶ月あたりの負担の上限額が決められており、無制限に負担が大きくなるように助成しました。



重度心身障がい者医療費助成事業 (福祉保健課)

4,255万円

【財源】 県：1,844万円 町：2,411万円

心身に一定の障がいを持つ方の保健の向上及び福祉の増進を図ることを目的とし、重度心身障がい者に対して、その医療費の一部を助成しました。

介護保険事業 (福祉保健課)

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、保健医療の向上と福祉の増進に努めました。

また、将来的に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

○要介護（要支援）認定者数【平成25年度末現在】

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
第1号被保険者	173	147	150	93	86	75	66	790
65歳～74歳	22	22	22	9	10	8	4	97
75歳以上	151	125	128	84	76	67	62	693
第2号被保険者 (40歳～64歳)	3	2	1	5	3	1	3	18
総数	176	149	151	98	89	76	69	808

社会福祉協議会への補助金 (福祉保健課)

2,499万円

【財源】 町：2,499万円

社会福祉協議会は町民の皆さんや各種関係機関・団体などと連携し、地域福祉の推進を図っています。社会福祉協議会が地域福祉の中心的役割を担い、町民が支えあいながら安心して暮らせるまちとなるよう、町から補助金を支出しました。

民生・児童委員活動推進事業 (福祉保健課)

328万円

【財源】 県：261万円 町：67万円

民生委員は、それぞれ担当区域内で地域福祉増進のために幅広い活動を行っています。民生委員の活動を支援するため、板野町社会福祉協議会を通じて活動費を支給しました。

毎月定例会を開催し、専門部会による研修会なども行いました。

- ・委員数 38人（うち、主任児童委員 3人）



配食サービス事業（福祉保健課）

392万円

【財源】 町：392万円

町内の一人暮らしの高齢者や介護の必要な方のために、健康維持や自立生活の継続などを目的として、栄養バランスのとれた食事を定期的に宅配するサービスを行いました。

敬老会事業（福祉保健課）

1,088万円

【財源】 町：1,088万円

長年にわたり地域や社会に貢献された高齢者に対し、感謝と敬意を表するとともに、その健康と長寿を祝うことを目的として、敬老会を開催し敬老年金を支給しました。

平成25年度の敬老会は9月16日の敬老の日に、ご招待者をはじめ総勢300名の方にご参加いただき、開催いたしました。

◆敬老年金（75歳以上）	1,968人
◆敬老祝い金（100歳到達者）	1人
◆記念品	
・80歳	143人
・88歳（米寿）	89人
・90歳	44人
・95歳	15人
・100歳	1人
・100歳超	9人
・金婚	17組
・ダイヤモンド婚	6組



養護老人ホーム「しあわせの里」運営事業 （老人ホーム）

4,872万円

【財源】 県：1万円 その他：4,316万円 町：555万円

老人福祉法の目的及び基本的理念に基づき、環境上・経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を入所させて養護するとともに、社会活動参加の促進と自立のために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことで、入所者が自立した日常生活を営むことができることを目的として、養護老人ホームの運営を行っています。

入所している方の入所費用を支出しており、入所者本人や扶養義務者には所得に応じた費用負担をいただいています。

毎年秋には老人ホーム祭「しあわせの里まつり」を開催し、ボランティアによる歌謡ショーや舞踊、子ども達によるチアダンスや獅子舞などが披露されるとともに、模擬店や豪華景品の当たる抽選大会など、入所者はもとより来園者の方たちにも楽しんでいただいています。

平成26年3月末現在の養護老人ホーム「しあわせの里」の入所者は34名で、そのうち6名が板野町の措置者となっています。



第2節

保健・予防の充実

母子保健事業（福祉保健課）

925万円

【財源】 県：21万円 町：904万円

◆育児等健康支援事業 84万円

妊婦及び出産後の子どもと保護者を対象に、保健師や助産師などによる子育ての正しい知識の普及や子育てに関する必要なサービスの情報提供を行い、訪問や相談による保護者の育児不安の軽減や健全な母性の育成支援を行いました。

母子健康教室・相談事業

区 分	参加者人数
ベビーマッサージ・産後ヨガ教室	15人
離乳食教室	95人
妊産婦訪問	69人
乳幼児訪問	69人
ヘルスサポート養成講座事業	95人

◆乳幼児健診事業 841万円

妊婦及び胎児の命と健康を守るため、妊婦健診（妊婦1人につき14回を上限）費用の助成を行いました。

また、乳幼児の健康と発育状況を確認するため乳幼児健診を実施しました。

- ・母子健康手帳の交付件数 76件
- ・妊婦健診受診件数 756件（延べ件数）

乳幼児健診

区 分	対象児童数	受診児童数	
乳児健診	3～5ヶ月	59人	59人
	6～8ヶ月	72人	60人
	9～12ヶ月	120人	118人
1歳6ヶ月児健診	78人	76人	
3歳児健診	83人	77人	
1歳6ヶ月児聴力検査	72人	49人	
2歳児歯科健診	82人	47人	
先天性股関節脱臼検診	75人	75人	



国民健康保険事業（住民課）

国民健康保険は相互扶助の精神により、被保険者の病気やけが、出産及び死亡などに対する保険給付を行う社会保険制度として、地域医療の確保と町民の健康増進に大きく貢献するとともに、重要な役割を果たしています。

国民健康保険の運営は、国・徳島県及び板野町（保険者）による負担金と被保険者からの保険税を財源として行っています。

国民健康保険に係る事務を行い、国民健康保険の安定的な運営を推進するとともに、療養給付費の支払いのほか、高額療養費や出産育児一時金の支給などを行いました。

国保加入世帯数・被保険者数（平成26年3月31日現在）

区 分		世帯数・被保険者数
世 帯 数		2,051世帯
被 保 険 者	一 般	3,525人
	退職被保険者等	257人
	合 計	3,782人



後期高齢者医療事業（住民課）

後期高齢者医療は、国・徳島県、保険者である県内市町村からの負担金や後期高齢者医療被保険者の保険料、各医療保険被保険者の保険料などを財源として後期高齢者医療広域連合が運営しています。板野町からも療養給付費負担金を支払っています。

・被保険者数 1,979人（平成26年3月31日現在）

健康診査事業（福祉保健課）

1,145万円

【財源】 国：66万円 県：66万円 その他：95万円 町：918万円

生活習慣病の早期発見を目的として、40歳以上を対象とした健康診査（生活保護受給者のみ）、がん検診、肝炎ウイルス検査などを実施しました。

また、子宮がんや乳がん、大腸がんに係る検診については無料クーポンを配布して、受診率の向上を図りました。

健康診査・がん検診

区 分	対象者	受診者数
健康診査(生保)	40歳以上男女	6人
胃がん検診	40歳以上男女	388人
大腸がん検診	40歳以上男女	583人
子宮がん検診	20歳以上女性	320人
乳がん検診	40歳以上女性	244人
肺がん検診	40歳以上男女	631人
前立腺がん検診	50歳以上男性	240人
肝炎ウイルス検査	40歳以上男女	122人



予防接種事業（福祉保健課）

1,818万円

【財源】 町：1,818万円

町と委託契約を締結した県内指定医療機関で予防接種を実施しました。

予防接種

接種名	対象年齢	接種回数	接種人数 (延べ人数)
BCG	12ヶ月未満	1回	66人
不活化ポリオ	3ヶ月～90ヶ月(7歳半)未満	4回	77人
麻疹風疹混合	1期(12ヶ月～24ヶ月未満) 2期(5歳～7歳未満(小学校就学前))	2回	168人
四種混合 (ジフテリア・破傷風 ・百日せき・ポリオ)	3ヶ月～90ヶ月(7歳半)未満 ・初回接種…3～8週間隔で3回 ・追加接種…初回3回目から 1年以上あけて1回	初回：3回 追加：1回	292人
二種混合 (ジフテリア・百日せき)	11歳以上13歳未満	1回	75人
日本脳炎	I期(6ヶ月～90ヶ月(7歳半)未満) ・初回…6～28日間隔 ・追加…I期初回から1年経過後 II期(9歳以上13歳未満)	I期 初回：2回 追加：1回 II期：1回	393人
ヒブ	①2ヶ月以上7ヶ月未満の乳児 ②7ヶ月以上1歳未満の乳児 ③1歳以上5歳未満の乳幼児	①計4回 ②計3回 ③1回のみ	274人
小児用肺炎球菌	①2ヶ月以上7ヶ月未満の乳児 ②7ヶ月以上1歳未満の乳児 ③1歳以上2歳未満の乳幼児 ④2歳以上5歳未満の乳幼児	①計4回 ②計3回 ③計2回 ④1回のみ	213人
子宮頸がん	中学1年生から高校1年生相当の女子	3回	32人
インフルエンザ	65歳以上 60歳以上65歳未満で身障1級 (心臓、呼吸器、腎臓)該当者	1回	1,344人

救急医療対策事業（福祉保健課）

435万円

【財源】 町：435万円

夜間や休日等の救急患者受け入れを確保するため、板野郡医師会と連携を図り、救急医療サービスを実施しました。

◆在宅当番医制運営事業

日曜・祝日に当番医を定め、外来診療により救急患者に対応しています。

◆病院群輪番制運営事業

休日・夜間などに入院や手術が必要な重症患者に対する医療(二次救急医療)を行っています。本町関係では、4医療機関が順番で救急医療を行っています。

第3節

地域安全体制の整備

消防防災体制強化事業（総務課）

1,267万円

【財源】 県：250万円 その他：200万円 町：817万円

東日本大震災を踏まえ、地震や台風などの自然災害をはじめとする大規模災害等から、住民の生命や財産を守るため、消防防災体制の強化を図りました。

平成25年度は、指定避難施設である小中学校に簡易備蓄倉庫及び担架・間仕切り等の備蓄品を購入し、災害時に避難者への迅速な対応ができるようにしました。



消防団活動推進事業（総務課）

839万円

【財源】 町：839万円

火災の未然防止や発生時の初期消火活動、台風などによる災害発生時の迅速な対応と被害の最小化を図るため、消防団活動の推進を図りました。

消防団の出動状況

出動区分	延日数	延人数	摘要
建物火災等	1日	32人	
水防出動等	3日	97人	台風17・18号
搜索活動等	3日	67人	行方不明者搜索
予防・警戒	2日	138人	年末警戒
演習・訓練	18日	350人	操法大会・訓練
			防災避難訓練
			文化財防火訓練
			非常呼集訓練
会議	7日	81人	幹部会議等
その他	1日	80人	出初式



平成25年度 板野町消防出初式

消防施設維持管理事業（総務課）

552万円

【財源】 町：552万円

万一の火災や台風などの災害発生時に、効率的な対策・対応を行うための消防施設（詰め所、車両、小型ポンプ、防災無線等）の維持管理を行いました。



広域消防運営負担金（総務課）

2億2,245万円

【財源】 町：2億2,245万円（うち、町債：740万円）

消防事業は、板野町と上板町の2町で一部事務組合を組織して運営しており、板野町からも負担金を支出しています。

平成25年度は、通常の消防・救急業務の他、徳島県が主体となって行った消防救急デジタル無線（共通波）の整備に係る負担金について、支出しました。



役場庁舎耐震改修等事業（総務課）

1,398万円

【財源】 町：1,398万円

近い将来に高い確率で発生することが予測されている東海・東南海・南海の三連動地震に備え、平成24年度からの継続事業として実施してきた役場庁舎の耐震改修工事が完了しました。



東公会堂耐震改修等事業

（人権コミュニティ課）

6,350万円

【財源】 県：4,344万円 町：2,006万円

大規模地震等、災害発生時の指定避難施設となっている東公会堂が、築後30年以上を経過しており耐震性に乏しいため、耐震改修工事を行いました。



木造住宅耐震支援事業（建設課）

578万円

【財源】 国：256万円 県：146万円 町：176万円

町内における、地震に対して倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事などに係る費用の一部について補助金を支出しました。



やすらぎと誇りを創る人づくり

第1節 安全と安心の共有

第2節 町づくり団体の育成・支援

第3節 地域コミュニティの形成と実践

第4節 人権・公正・公平

第5節 共に学ぶ人づくり

第1節

安全と安心の共有

交通安全施設対策事業（建設課）

250万円

【財源】 町：250万円

歩行者の安全確保や自動車交通の円滑化を図るため、防護柵（ガードレール、ガードパイプ等）や道路反射鏡（カーブミラー）などを設置しています。

平成25年度は16ヶ所に整備しました。

交通安全運動団体育成事業（総務課）

123万円

【財源】 町：123万円

交通安全思想の普及及び指導の徹底、交通指導員の育成・強化を図るとともに、町内の交通事故の防止を図るため、交通安全に関する活動を行う団体の運営に必要な経費に対して補助金の交付を行いました。

防犯連絡体系整備・強化事業（総務課）

36万円

【財源】 町：36万円

防犯思想の普及徹底を図り、犯罪のない明るい郷土をつくることを目的とした活動を行う団体に対し、負担金を支出しました。

第3節

地域コミュニティの形成と実践

青少年健全育成運動推進事業（教育委員会）

630万円

【財源】 県：2万円 町：628万円

地域・学校と連携して、子どもたちの健全な育成を図るため、青少年補導センターへの負担金、町PTA連合会や親子会連絡協議会などの団体への補助金を支出しました。



コミュニティ助成事業（人権コミュニティ課）

250万円

【財源】 その他：250万円

町内の団体などが地域コミュニティの活性化を図るために行うまちづくり活動に対して、補助金の交付を行い支援しています。

平成25年度は、ぴょん太和太鼓倶楽部に対して補助金の交付を行いました。

第4節

人権・公正・公平

公会堂運営事業（人権コミュニティ課）

1,365万円

【財源】 県：963万円 その他：2万円 町：400万円

町内の公会堂は、地域住民の自主的な組織活動を促進し、社会的・経済的・文化的な向上を図るため、また人権・同和問題解決のための拠点として、各種の相談事業、社会教育活動、青少年育成のための文化活動等を推進し、福祉の充実に努めました。

人権啓発推進事業（人権コミュニティ課）

188万円

【財源】 県：40万円 町：148万円

町民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「心豊かな人権文化のいきづくまちづくり」を推進し、あらゆる人権問題・同和問題の解決に向けた施策に取り組んでいます。

平成25年度は、増岡弘さんと東京ルネッサンスによる群読公演などを開催しました。



平成25年度 人権講演会

人権教育事業（教育委員会）

415万円

【財源】 町：415万円

同和問題をはじめ、女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人などに対する様々な人権侵害をなくすため、小中学校の先生と役場職員とが合同で参加する研修会を実施したり、四国地区・全国の人権教育などの研究大会に参加しました。

第5節

共に学ぶ人づくり

学校給食センター建設事業（教育委員会）

1億3,447万円

【財源】 町：1億3,447万円

板野郡西部学校給食組合が平成26年度末で解散することに伴い、町単独での給食施設建設に着手をいたしました。

新基準に適合した安全性の高い食育の拠点として、地元食材を用いた地産地消の推進を図り、安全安心な給食を提供することにより、子どもたちの健康な心身の育成に寄与することを目指します。



板野町学校給食センター完成予想図

幼稚園運営事業（教育委員会）

2,562万円

【財源】 国：7万円 その他：1,192万円 町：1,363万円

幼稚園において、同年齢の幼児が相互に遊び、保育士がその遊びを指導することにより、幼児の社会性向上や心身の健全な発育に努めました。

また、幼稚園の環境整備として、東幼稚園廊下の人工芝張替え、西幼稚園の門扉及びプール、南幼稚園の門扉や園舎南側の外廊下の軒付けなどの修繕を行いました。

学校運営事業（教育委員会）

6,379万円

【財源】 国：43万円 県：22万円 その他：160万円 町：6,154万円

児童や生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、学校運営に取り組んでいます。

平成25年度は、西小学校のブロック塀撤去及びフェンス設置工事、中学校体育館の窓に防球フェンスの設置などを行いました。

小学校児童数（ ）内は特別支援学級数(外数) 平成26年5月1日現在

学校名	児童数	学級数
板野東小学校	378人	13学級(5)
板野東小学校大坂分校	7人	2学級
板野西小学校	115人	6学級(2)
板野南小学校	175人	6学級(2)
合計	675人	21学級(7)



【板野東小学校HPより】

中学校児童数（ ）内は特別支援学級数(外数) 平成26年5月1日現在

学校名	児童数	学級数
板野中学校	345人	11学級(3)



【板野南小学校HPより】

児童館運営事業（住民課）

3,096万円

【財源】 町：3,096万円

健全な遊びをとおして、児童の健康増進や豊かな情操を育むことを目的とし、異年齢の子どもたちが集い交流することにより自主性や社会性を高めるなど、児童の健全育成の推進を図りました。



【板野東児童館】



【板野西児童館】



【板野南児童館】

子ども外国語活動支援事業（教育委員会）

240万円

【財源】 県：240万円

県の雇用創出基金を活用し、国際化社会で活躍する人材育成を目的に、小さい頃から英語に慣れ親しむため、幼稚園や小学校で簡単な英会話を実践する事業を実施しました。



【板野西小学校HPより】

放課後子ども教室推進事業（教育委員会）

103万円

【財源】 県：68万円 町：35万円

スポーツ活動や文化活動などの体験活動や地域住民との交流活動等を通して、子どもたちが心豊かに育まれる環境を整備するなど、放課後に子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりに努めました。

子どもフェスティバル等開催事業
（教育委員会 文化の館）

141万円

【財源】 その他：20万円 町：121万円

次世代を担う子どもたちの育成を地域が一丸となって支援することをテーマとして、子どもフェスティバルを開催しました。

また、板野町出身画家の作品展や童謡とわらべ歌のコンサートも開催するなどし、子どもたちの情操教育の向上を図りました。



体育施設管理運営事業（教育委員会 健康の館）

2,595万円

【財源】 その他：192万円 町：2,403万円

体育施設や設備の保守・点検等を実施し、町民が安全にスポーツ活動に親しむことのできる環境を整えることで、町民のスポーツに触れる機会の充実や運動に対する意識の高揚を推進し、健康の促進や体力の向上を図りました。

小学校運動場の照明や健康の館の移動式バスケットゴールの修繕などを行いました。



【町民プール】



【健康の館】



【体育センター】

町民プール改修事業（教育委員会 健康の館）**3,865万円**

【財源】 町：3,865万円

平成11年の大規模改修から14年が経過し老朽化が著しく、毎年の小規模な修繕では修理しきれない箇所が増えてきており、町民の安全安心な遊泳に支障を来すおそれがあるため、全面的な改修工事を行いました。

体育振興団体育成事業（教育委員会 健康の館）**220万円**

【財源】 町：220万円

広く町民の皆さんにスポーツを普及し、町民の皆さんが「いつでも、どこでも、誰でも」スポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指して活動する体育振興団体に対し助成を行いました。

Jリーグチーム応援事業（産業課）**340万円**

【財源】 町：340万円

板野町に活動拠点を置くJリーグチームの徳島ヴォルティスを支援することで、スポーツが生活に溶け込み、町民の皆さん、特に子どもたちが夢や希望を持つことで、心身の健康と生活の楽しみを享受することを図りました。

また、徳島ヴォルティスがなお一層活躍できるよう、環境整備やサポート体制作りのために設立された『ヴォルティス・いたのファミリー倶楽部』への補助金を支出しました。



にぎわいが行き交う文化圏づくり

第1節 歴史と文化の継承

第2節 産業の振興

第3節 産官学交流ネットワークづくり

第1節

歴史と文化の継承

市町村連携コンサート（国文祭
成果継承）事業（教育委員会 文化の館）

955万円

【財源】 県：250万円 その他：583万円 町：122万円
平成24年度に、全国初となる2度目の国民文化祭が徳島県で開催されたことを契機として設立されたプロのオーケストラと、地元小中学校の合唱部や地域の合奏団などが、国文祭の成果を継承・発展させていくために共演してコンサートを開催しました。

歴史文化公園管理運営事業
（教育委員会 文化の館）

3,504万円

【財源】 その他：590万円 町：2,914万円

板野町は古来より交通の要衝として地域の中心地として栄え、社会的役割を果たしてきました。この歴史とともに育まれた風土や人々の心を次世代へと継承していくため、また新たな町づくりの拠点として、この「歴史文化公園」は活用されています。

文化・芸術の発信基地となる「文化の館」や、空想恐竜イタノザウルスがシンボルの「祭りの広場」などの管理を行いました。

あさんフェスティバル事業（産業課）

307万円

【財源】 町：307万円

「環境と健康を考える…」をテーマに、自然環境保護や地球温暖化防止・健康の大切さ等のメッセージを全国へ発信することで、地域活性化・文化の発展を図るとともに『ウォーキングのまち・板野町』のPRを行いました。

平成25年度もチャリティー・ウォーキングをメインとした「あさんウォーキングフェスタ in いたの」を実施し、参加料の一部を東日本大震災被災地への義援金としました。



彩りの館管理運営事業（産業課）

273万円

【財源】 町：273万円

「道」をテーマに、町の歴史や文化、産業の移り変わりについて体験型展示を行い、町民の皆さんが地域に興味や関心を抱き、心豊かに自分の住むまちを見つめ直す機会を与える施設となるよう、情報の発信に努めました。



第2節

産業の振興

農地整備事業（産業課）

800万円

【財源】 町：800万円

農道、用排水路、ため池などは農業や農村の振興のために重要な農業用施設であり、農地の適正な管理や水路の維持管理に対する助成等を行っています。

平成25年度は、栄土地改良区や松谷土地改良区の水路改修事業等に助成しました。

とくしま明日の農林水産業づくり事業
（産業課）

977万円

【財源】 県：977万円

全額県補助による県単独事業で、きめ細かな農林水産業の振興策を講じ、地域農林水産業の発展振興に資することを目的とした事業です。

平成25年度は、板野郡農協松坂支所が実施した「差圧式予冷庫増設事業」に対し、県からの補助金を交付しました。

経営所得安定対策事業（産業課）

181万円

【財源】 国：160万円 県：21万円

農産物の販売価格が生産費用を下回っている作物を対象として、その差額を交付することによって農業経営の安定と生産力の確保を図るとともに、食糧自給率の向上と農業の多面的機能の維持に努めました。

新規就農総合支援事業（産業課）

450万円

【財源】 県：450万円

就農してからの期間が短く、経営が不安定な時期の新規就農者に対して最長5年間の支援を行います。

力強い農業の振興と担い手の育成のため、国の補助事業を活用して新規就農者を支援しました。

平成25年度は3件の給付を行いました。



山林アクセス道整備事業（産業課）

135万円

【財源】 町：135万円

板野町にある山林をとおして、自然の大切さや森林愛護の意識を醸成しながら、また自然林に触れる機会の拡大や環境保全を図るため、山林道の整備を行いました。

鳥獣被害対策事業（産業課）

470万円

【財源】 県：272万円 町：198万円

サルやイノシシ、カラスなど鳥獣による農作物等への被害を防止し、農業生産者の生産意欲の向上と経営安定を図りました。

平成25年度は、猟友会による有害鳥獣の駆除を行うとともに、鳥獣による田畑への進入防止のため防護柵等の資材提供を行いました。

主な有害鳥獣の捕獲実績 単位(頭、匹)

鳥獣名	捕獲数
イノシシ	75
タヌキ	1
ハクビシン	6
合計	82

防護柵等整備状況

年度	柵の延長	受益戸数
平成23年度	L= 5,170m	44戸(9.1ha)
平成24年度	L= 4,560m	37戸(6.6ha)
平成25年度	L= 4,350m	62戸(10.0ha)
合計	L= 14,080m	143戸(25.7ha)

消費者生活対策事業（産業課）

461万円

【財源】 県：409万円 町：52万円

消費者が消費生活に関する知識を習得し、自主的かつ合理的に行動することで、健全な消費生活を営むことができるよう努めました。

また、消費生活に関する講座等を開催することによって、様々な情報に接する機会の積極的な提供を行いました。

商工業振興事業（産業課）

378万円

【財源】 県：1万円 町：377万円

商工業の振興のため、商工会が開催する経営相談や各種研修会などへの補助、商工会及び商工会に属する企業・団体などの育成と活動支援を行いました。



地域活性化支援事業（産業課）

300万円

【財源】 町：300万円

消費の喚起と地域商業の活性化を図るため、商工会が発行するプレミアム付商品券の発行経費に対して補助を行いました。

プレミアム付商品券の発行部数は3,500セット、加盟店舗数は54店舗でした。

あせび公園活用事業（産業課）

173万円

【財源】 町：173万円

標高 400mほどの大坂峠周辺には、「板野町の木」にもなっている約2千本もの馬酔木（あせび）が群生し、春先には白い釣鐘状の小さな花を満開に咲かせています。町では、平成9年度より一帯を「あせび公園」として整備しています。

また、ふもとの阿波大宮駅から公園までは徳島県により遊歩道が整備され地元住民や愛好家らに親しまれており、町では「ウォーキングのまち・いたの」としてこの遊歩道、さらには大坂峠展望台までの周遊 8.5kmの周遊コースを町民の健康づくりに活用するなど、様々な取り組みを図っています。

平成25年度は、公園周辺の環境整備を行いました。



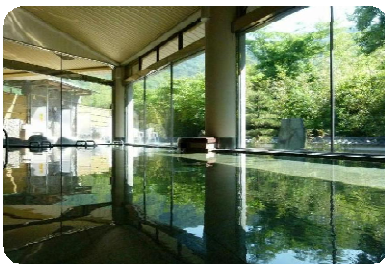
あせび温泉やすらぎの郷運営事業 （産業課）

7,029万円

【財源】 使用料：6,840万円 その他：189万円

平成14年に開業した「あせび温泉やすらぎの郷」は、大坂甚左原から湧き出る水量豊かな鉱泉を使用し、町民をはじめとする利用者の方々に良質な湯を堪能していただいています。

施設周辺の歴史や四季折々の借景を楽しみながら、憩いや潤いの場として、幅広い交流の場として、また健康づくりの場として利用していただけるよう努めました。



自助・共助・公助への改革

第1節 小さな自治体と自立への10年計画

第2節 信頼される役場づくり

第3節 行財政改革の推進

第1節**小さな自治体と自立への10年計画****地域主権改革推進事業**（総務課）**74万円**

【財源】 町：74万円

地域の自主性及び自立性を高めるため、従来、国が政省令等により地方に示してきた基準を、各自治体が自ら条例等を整備して基準を定めることとなりました。

平成25年度は、条例等の整備にあたって側面的な支援を得るための業務委託を行いました。

人事評価推進事業（総務課）**228万円**

【財源】 町：228万円

人事評価制度は、職員のやる気や向上心、能力を高め行政サービスの質の向上を目的として導入するものです。

評価の客観性や公平性を確保し、効率的・効果的な運用を行うための評価システムの構築・導入についての業務を委託しました。

第5次板野町振興計画策定事業（総務課）**336万円**

【財源】 町：336万円

板野町のまちづくりの基本理念と施策の指針を示した「第4次板野町振興計画」が、平成26年度で最終年度を迎えることから、新たに平成27年度からの10年間にわたる板野町の方向性を示すため、『第5次板野町振興計画』の策定に着手しました。

平成26年度にかけての継続事業として策定を行い、平成27年度からの運用を目指しています。

第2節**信頼される役場づくり****電子自治体運営推進事業**（総務課）**2,545万円**

【財源】 町：2,545万円

町の基幹業務システム及び財務会計システムなどの一括運営事業です。

ソフトウェア及びサーバー、端末機器等の維持管理を行いました。

また町民の皆さんが、町施設の利用予約や行政情報の検索が行える端末機を、公共施設に設置し運用しています。

地方税電子化推進事業（税務課）

145万円

【財源】 町：145万円

個人・法人町民税や固定資産税（償却資産）といった地方税の申告や申請、届け出について、インターネットを使用して電子的に手続きを行うことのできるシステムを推進しています。

このシステムは、全国の地方公共団体で組織する「一般社団法人 地方税電子化協議会」が運営しており、その負担金やシステムソフトの使用料、サービス利用料などを支出しました。

戸籍電算化推進事業（住民課）

526万円

【財源】 その他：125万円 町：401万円

戸籍総合システムの利用により、住民一人ひとりの重要な情報を管理し、記載や審査など職員の負担が大きい戸籍業務について一元管理を行うことで、事務の効率化、住民サービスの向上に努めました。

また、東日本大震災を受け、戸籍正本・副本の同時滅失を防ぐため、全国2カ所にある戸籍副本データ管理センターによる管理システムの導入を行いました。

第3節

行財政改革の推進

広域行政推進事業（一部事務組合負担金）
（議会事務局・税務課・環境生活課・教育委員会）

3億3,358万円

【財源】 町：3億3,358万円

地方公共団体の事務の中には共通したり重複した事務があり、それぞれ近隣の市町村と広域的な視点から連携・調整、効率化を図ることで、事務の効率化や経費の削減へとつながります。このように、市町村の枠を超え、広域的に事務を行うために組織された団体を「一部事務組合」といいます。一部事務組合を構成する市町村はその組合の運営経費を、人口や利用者数など合理的な割合に応じて負担することとなります。

- ・市町村議会議員公務災害補償等組合 4万円
- ・徳島県滞納整理機構 235万円
- ・中央広域環境施設組合 2億8,772万円
- ・板野郡西部学校給食組合 4,346万円



広報広聴事業（総務課）

416万円

【財源】 国：1万円 町：415万円

町の施策や事業内容、財政状況などについて広く町民の皆さんに周知するため、広報誌の作成・配布及びホームページへの掲載・更新をしています。

広報誌及び役場からのお知らせなどの配布物は、町内約5,500世帯へ全戸配布しています。

また平成25年度には、ホームページへのアクセスが92,225件ありました。



わかりやすい予算書・決算書の作成（総務課）

板野町の歳入・歳出について、町民の皆さんにわかりやすくお知らせするために、わかりやすい予算書・決算書を作成し、ホームページに掲載しました。





総合行政の成果

公有財産関係

人事関係

税務関係

戸籍・住民基本台帳等関係

国民年金関係

選挙関係

議会関係

公有財産関係

町有財産の管理（総務課）

町が所有する土地・建物などの管理を行いました。
役場庁舎の耐震改修工事、東児童館増築工事により建物の延面積が増えています。

単位(㎡)

区 分			平成25年度末現在	
			土地(地積)	建物(延面積)
行政財産	公用財産	本庁舎	4,637	1,923
		その他施設	613	608
	公共用財産	学校	77,523	16,523
		公営住宅	73,827	31,324
		公園	92,369	0
		その他施設	193,436	30,763
合 計		442,405	81,141	
普通財産	山林等	264,706	0	
合 計			707,111	81,141

※行政財産…町有財産のうち、直接公の目的のために使用されている財産。

役場庁舎や学校、町営住宅などがこれにあたります。

※普通財産…町有財産のうち、行政財産でないものをいいます。

直接公の目的に供されるものではないため、貸し付けを行うことができます。

人事関係

職員研修事業（総務課）

24万円

【財源】 町：24万円

職員の自己啓発と能力向上を目的として、研修機関への派遣研修を行いました。研修により「自ら考えて行動できる」職員を育成し経営意識の向上を図ることで、多種多様な行政ニーズや課題に対して柔軟な対応・積極的な行動のできる人材を確保し、より良い行政サービスの提供に努めました。

研修の状況

研修区分	研修機関	研修名等	参加延人数
派遣型集合研修	徳島県自治研修センター	階層別研修	18人
	徳島県自治研修センター	専門研修	72人
職場研修	板野町	各課業務内容研修	127人

税務関係

固定資産評価替事業（税務課）

1,205万円

【財源】 町：1,205万円

固定資産税は、適正かつ公平な課税を行うため、3年に1度の評価替えを行います。平成27年度評価替え(基準年度)に向けて、町内全域の航空写真撮影や公図修正、土地評価の見直しなどを行いました。

また、平成25年度も引き続き地価の下落がみられる地域において、その下落率を平成26年度固定資産税評価額に反映させるため、標準宅地価格の時点修正を行いました。

戸籍・住民基本台帳等関係

戸籍に関する事務（住民課）

戸籍の総数(平成26年3月31日現在)

本戸籍数	6,918戸籍
戸籍人口数	16,483人

人口動態に関する事務（住民課）

人口動態処理事務

区分	出生	死亡	死産	婚姻	離婚	合計
件数	71件	161件	0件	56件	20件	308件

- ・住民基本台帳登録人口（平成26年3月31日現在） 13,912人
- ・住民基本台帳登録世帯（平成26年3月31日現在） 5,530世帯
- ・転入届受理件数 477件
- ・転出届受理件数 474件
- ・転居届受理件数 99件

人口の推移(各月末現在)

区分	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末
人数	14,038人	14,000人	14,002人	14,007人	13,990人	13,980人
世帯数	5,495世帯	5,487世帯	5,490世帯	5,499世帯	5,496世帯	5,504世帯
区分	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
人数	13,972人	13,973人	13,963人	13,958人	13,964人	13,912人
世帯数	5,508世帯	5,512世帯	5,510世帯	5,516世帯	5,526世帯	5,530世帯

国民年金関係

国民年金に関する事務（住民課）

国民年金被保険者数

被 保 険 者	第1号	2,230人	免 除 状 況	法定免除	287人	申請免除(1/4)	5人
	任意加入	26人		申請免除(全額)	403人	学生納付特例	159人
	第3号	744人		申請免除(3/4)	34人	納付猶予	52人
	合計	3,000人		申請免除(半額)	13人	合計	953人

国民年金被保険者関係届出数

新規・ 再取得	任意 加入	付加保険料		資格喪失			住所変更		
		納付	辞退	喪失	申出	死亡	転居	転入	転出
74件	2件	14件	0件	0件	0件	0件	20件	49件	0件

種別 変更	変更・訂正		資格関係記録		
	氏名	生年月日	提出	追加	取消
249件	11件	0件	0件	0件	0件



国民年金保険料免除届出件数

法定免除		申請免除	学生納付 特例
該当	消滅		
33件	12件	306件	77件

無拠出年金者の移動状況

	老齢福祉年金
加入者数	0件
死亡者数	0件

選挙関係

選挙に関する事務（総務課）

平成25年7月21日執行 参議院議員通常選挙

	選挙区選出議員選挙			比例代表選出議員選挙		
	男	女	合計	男	女	合計
有権者数(人)	5,538	6,134	11,672	5,538	6,134	11,672
投票者数(人)	2,573	2,737	5,310	2,574	2,736	5,310
投票率(%)	46.46	44.62	45.49	46.48	44.60	45.49

※ 有権者数及び投票者数には、在外選挙人名簿登録者を含んでいます。

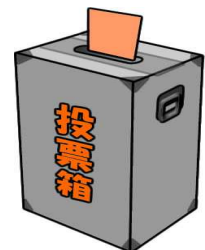
※ 投票者数には、期日前投票者、不在者投票者を含んでいます。

平成25年8月11日執行 板野町長選挙

	男	女	合計
有権者数(人)	5,475	6,071	11,546
投票者数(人)	3,703	4,294	7,997
投票率(%)	67.63	70.73	69.26

※ 有権者数及び投票者数には、在外選挙人名簿登録者を含んでいます。

※ 投票者数には、期日前投票者、不在者投票者を含んでいます。



議会関係

板野町議会議員（平成26年3月31日現在）



天羽 生美 石田 実 大西 正一 奥尾 周二 高橋 勲

築本 重視 東條 昭二 長尾 穎 西川 有

広田 勝己 松浦 昶 山本 朝義 吉岡 輝昭 (50音順)

◆議員の定数・任期◆

議員の定数は町の条例で定められており、板野町の議員定数は14人とされています。平成25年8月に1名が辞職したことにより、現在の議員数は13名となっています。議員は4年ごとに行われる選挙により選ばれます。現在の議員の任期は、平成23年11月1日～平成27年10月31日です。

◆議会の仕事◆

【議決】

町政を行うための重要な事項は、町議会の議決により決定します。主なものは以下のとおりです。

- 条例の制定・改正・廃止、予算の決定、決算の認定、基準を超える契約の締結・財産の取得及び処分など
- 副町長、教育委員、監査委員などの選任にあたっての同意など

【請願・陳情の審査】

住民からの請願・陳情を審査し、本会議で採択された請願のうち、必要があるものについては、その結果を町長などの執行機関へ送ります。

【意見書の提出・決議】

公共の利益に関係のある問題について、町議会の意思として国や県などに「意見書」を提出したり、「要望決議」を行うことにより、積極的な解決を求めます。

【町政のチェック】

町政の方針や行政が公平、公正かつ効率的に運営されているのかを、本会議及び各委員会において調査し、問題点の指摘を行います。

議会運営事業（議会事務局）

3,820万円

【財源】 町：3,820万円

町議会では、年4回の定例会、必要に応じて開催される臨時会、分野別に専門的な審議をする委員会などを行います。

議員の報酬・手当のほか、会議録の作成、住みやすいまちづくりに必要な知識習得のための視察研修や調査、その他議会のスムーズな運営のための経費を支出しました。

定例会・臨時会の開催状況

	条例で定めた数	開催日数	会期延日数	本会議延日数	傍聴者延人数
定例会	4回	26日	52日	14日	39人
臨時会	—	2日	2日	2日	0人

会期日数・本会議日数

	会期延日数	本会議延日数
第1回定例会(3月)	15日	4日
第2回定例会(6月)	11日	4日
第3回定例会(9月)	14日	3日
第4回定例会(12月)	12日	3日
合計	52日	14日

一般質問の状況

	日数 (延べ)	質問者数 (延べ)
一般質問	4日	13人

委員会・全員協議会の開催状況

	条例で定めた 委員会	開催した 委員会	会期中の 開催日数 (延べ)	閉会中の 開催日数 (延べ)	町外行政視察回数及び日数	
					回数	日数
常任委員会	3	12回	12日	0日	3回	8日
特別委員会	—	0回	0日	0日	0回	0日
議会運営委員会	—	—	1日	6日	0回	0日
全員協議会	—	—	4日	4日	0回	0日

監査委員事業（議会事務局）

監査委員は、町の仕事が正しく行われているか、町のお金が正しく使われているかについて監査を行います。

町の監査委員は、知識や経験のある方から選ばれた委員と、町議会議員から選ばれた委員が1名ずついます。

毎月の監査や決算の審査などを行い、その結果が町長に報告されました。

http://www.town.itano.tokushima.jp/2nd_page.php?div=soumu

板野町では、ホームページにて財政情報を積極的に公表しています。

★各種指標等★

●財務諸表

総務省「新地方公会計制度研究会」が公表しました2つの財務書類モデルのうち、板野町では「総務省改訂モデル」を採用し、財務書類4表を作成しています。

●当初予算

板野町全会計の当初予算について、概要を掲載しています。

●財政事情

板野町の予算の補正状況及び執行状況などについて、年2回（上半期と下半期）集計して公表しています。

●決算

板野町全会計の決算状況について、概要を掲載しています。

●財政状況

決算数値に基づく財政状況資料集、財政健全化判断比率・資金不足比率について掲載しています。

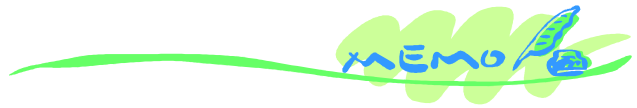
●わかりやすい財政状況

板野町あせび温泉やすらぎの郷マスコットキャラクター「弁慶くん」と「あせびちゃん」が、阿波弁丸出し(?)で板野町の財政状況について、わかりやすく解説しています。





A series of 20 horizontal dotted lines spanning the width of the page, providing a guide for handwriting practice.



A series of 20 horizontal dotted lines spanning the width of the page, providing a guide for handwriting practice.



生き生きと魅力に満ちた田園都市

“わかりやすい いたののけっさん

〈平成25年度決算 町民への決算説明書〉”

(決算概要版)

発行年月 平成 26 年 10 月

編集・発行 板 野 町

【問い合わせ先】

板野町 総務課 財政係

〒779-0192 徳島県板野郡板野町吹田字町南22-2

TEL 088-672-5980 (直通)

FAX 088-672-5553

E-mail soumu@town.itano.tokushima.jp

<http://www.town.itano.tokushima.jp/>